

2020年ビルオープンシステムの動向

1. 世界はオープン化ビルシステムが標準
2. 今の日本BA市場に起きていること
3. システム機器調達の具体的減額効果
4. 最新ビルシステムのIAPインターネット統合
5. ビルシステムのサイバー攻撃脅威について
6. オープンシステムを実現するデバイス



紹介

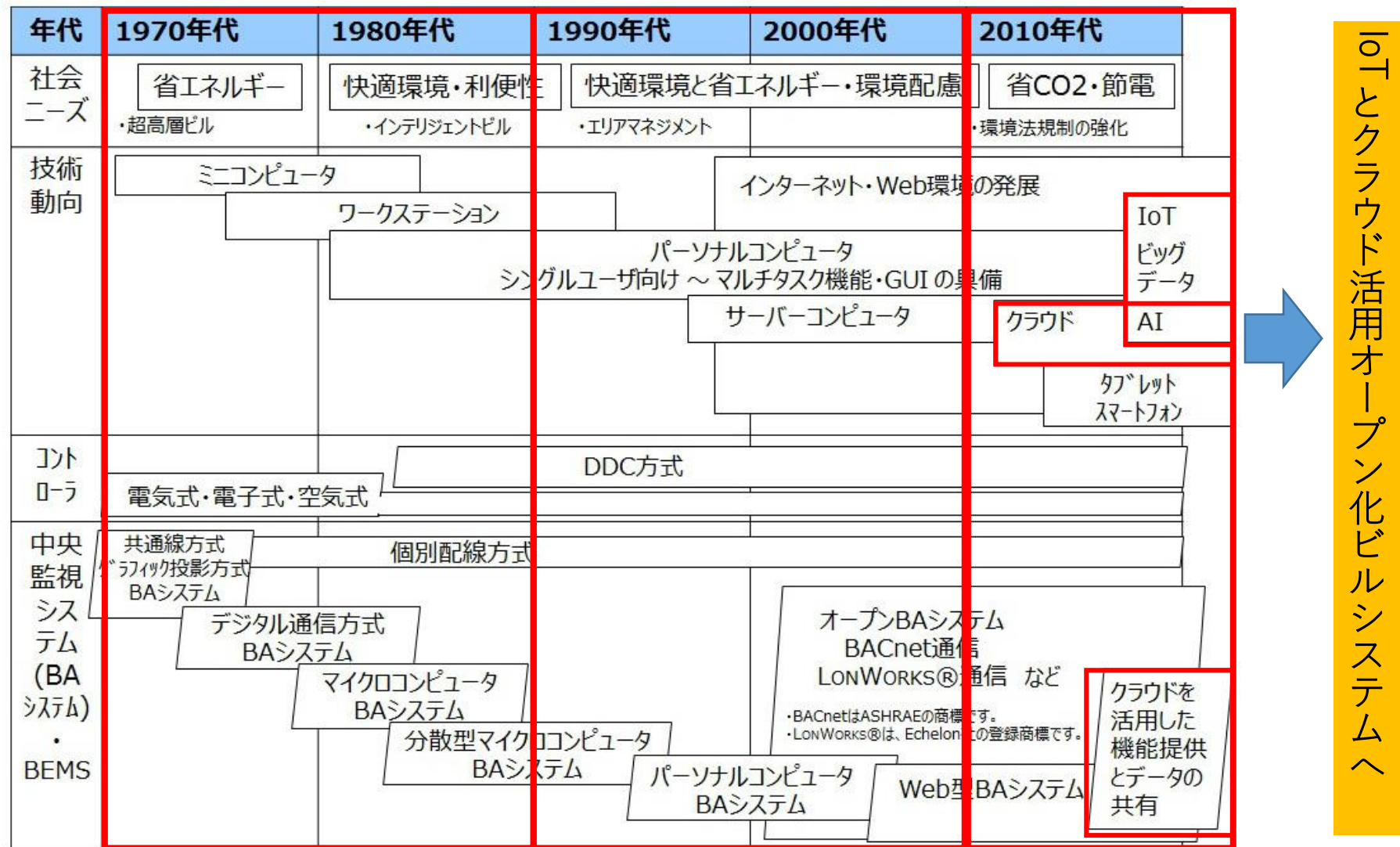


ロンマークジャパンの理事長富田です。本組織は東京都の特定非営利活動法人として認可され、ビル設備分野にオープンシステムの普及を目指して2004年に設立されました。以来、普及啓蒙活動を会員の方々や業界の方々のお力を頂きながら推進し技術的にもビルのローカル通信から有線無線またIoTからクラウドまで広範囲なインテグレーションを目指して活動中です。

フィールド分野だけでもLON(LonWorks)、BACnet、KNX、HD-PLC、DALI、Modbusなどの数々の世界標準規格に準拠したものがありオーナーの方々は昔から続いている囲い込みビジネスモデルのせいで合理的でないコスト構造からの脱却と特定会社に縛られない設備の継続性を可能とするためのインテグレーションの実現を目指し活動しています。

1. 世界はオープン化ビルシステムが標準

日本は世界から10年遅れ,これからはオープン化に参入の絶好の機会!



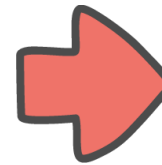
2. 今の日本BA市場に起きていること

公平な競争原理の働く市場へ

伝統的な日本のBA業界
公平な競争原理の働かない市場



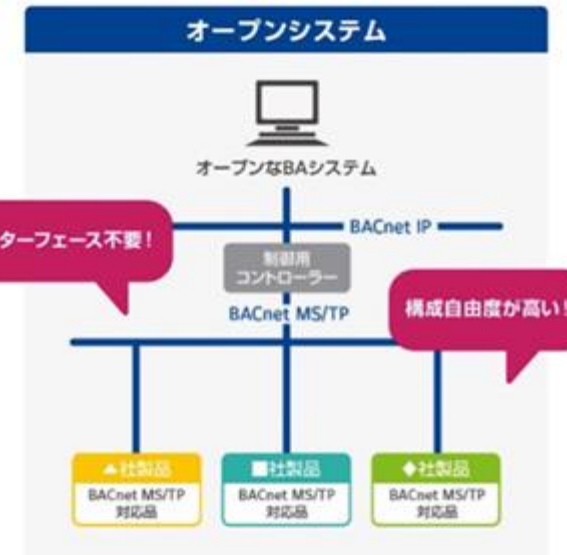
1. コネ！
2. 一人勝ち
3. コスト高止まり！



BA業界の転換期



1. オープンな競争
2. 適正コストの実現
3. ライフサイクルコストの低減



3. システム機器調達の具体的減額効果

設備機器、ビルシステムのオープン調達減額効果

※従来の概算金額を100とした場合の金額推移

機器類 調達費

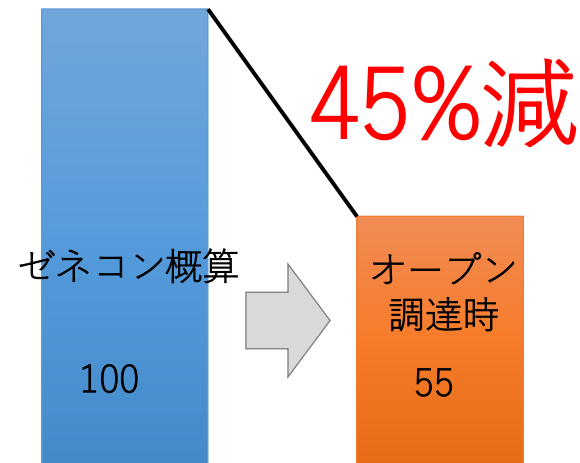
- ・ 特高受変電設備
- ・ 高圧受変電設備
- ・ 非常用発電機設備
- ・ 蓄電池設備
- ・ 直流電源設備
- ・ **空調設備** (IT用)
- ・ 消火設備
- ・ **中央監視設備**

オープン化が必要な理由！

公平な競争の実現を妨げる
日本の商習慣の改革

施主および事業関係者に
公平にメリットをもたらす
ビジネス構造の改革が必要

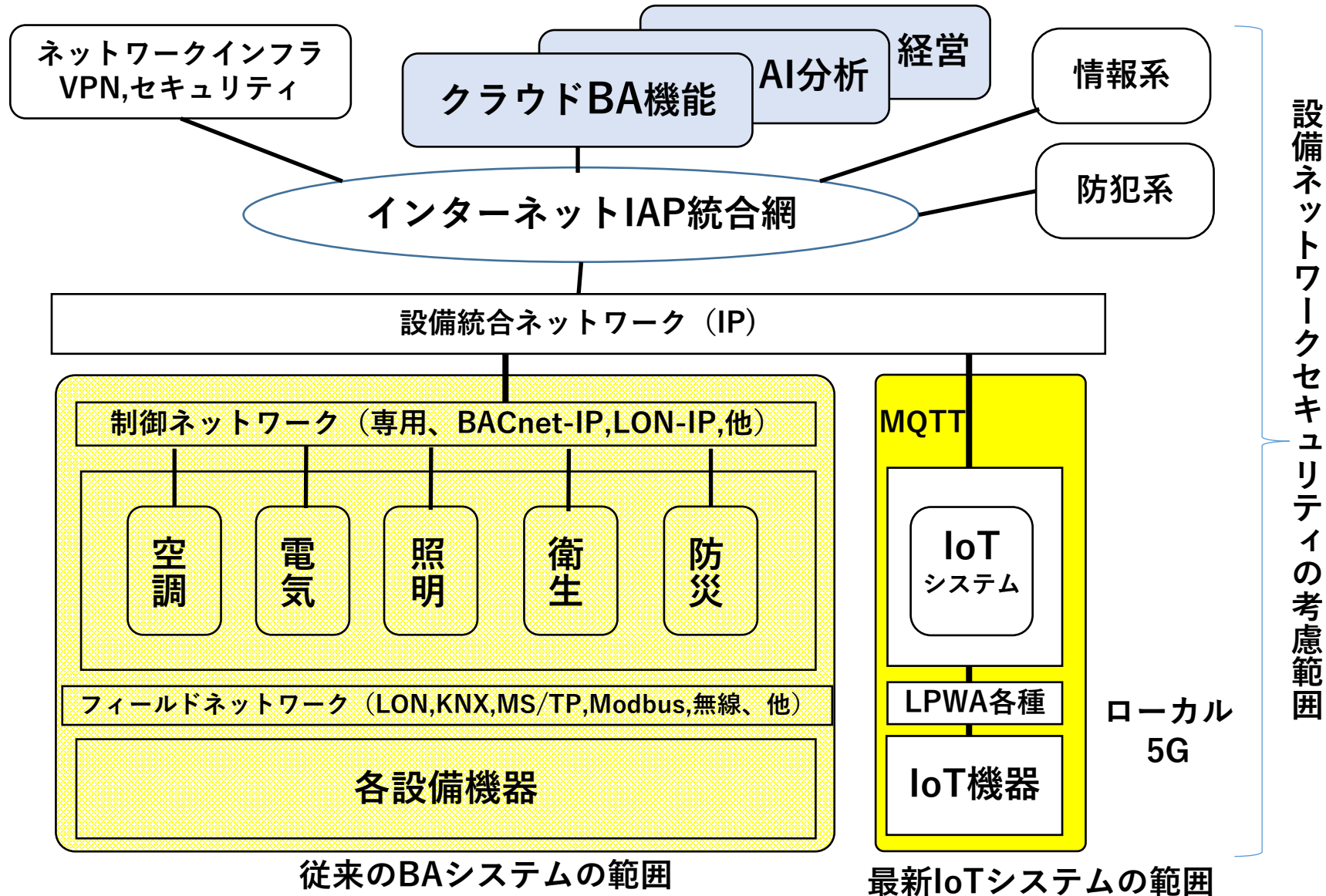
追記



設備機器類の原価の合計
ゼネコン概算時 100とするとオープン調達時 55、つまり約**4割の削減**

4. 最新ビルシステムのIAPインターネット統合

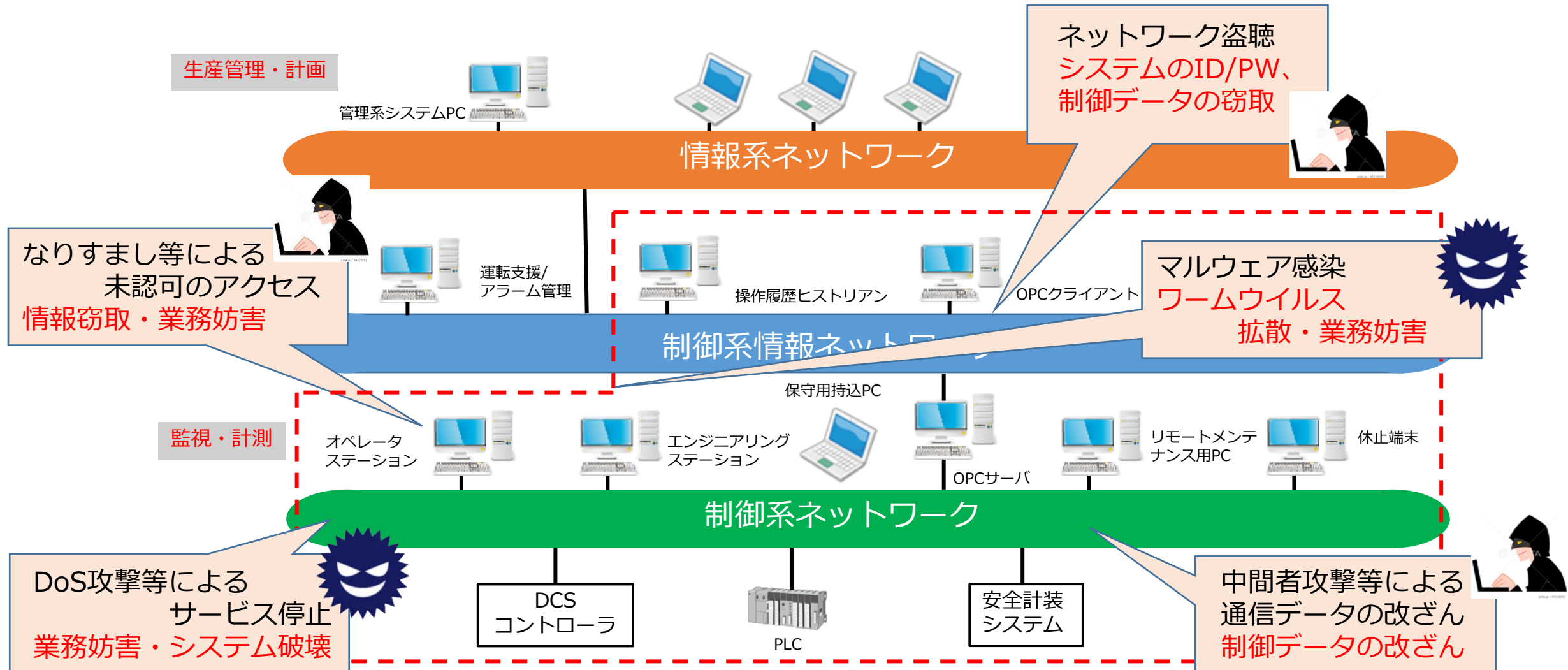
IAP : (インターネットアクセスプロトコル)



5. ビルシシステムのサイバー攻撃脅威について

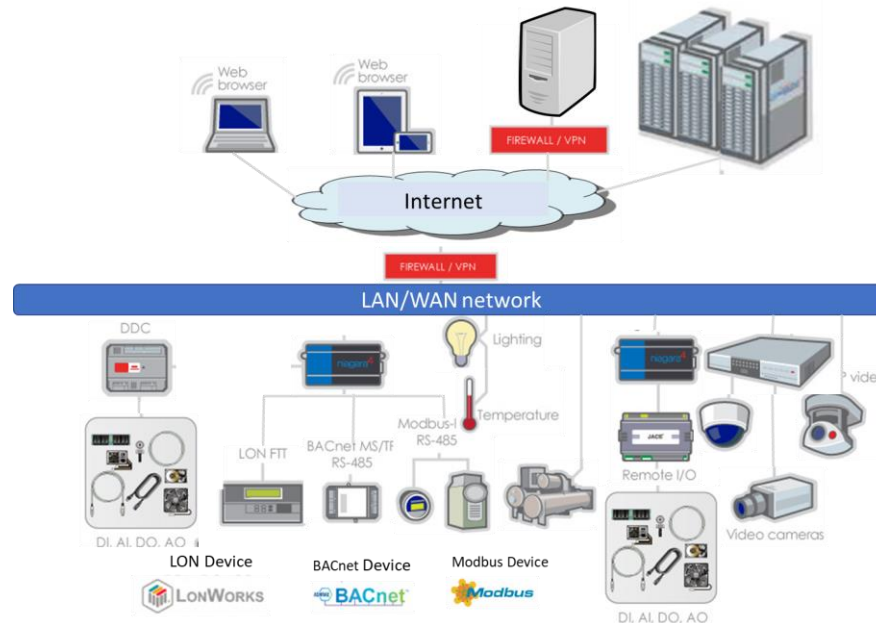
技術的脅威

ネットワーク及びネットワーク上の資産に対する脅威の例を明示



6. オープンシステムを実現するデバイス

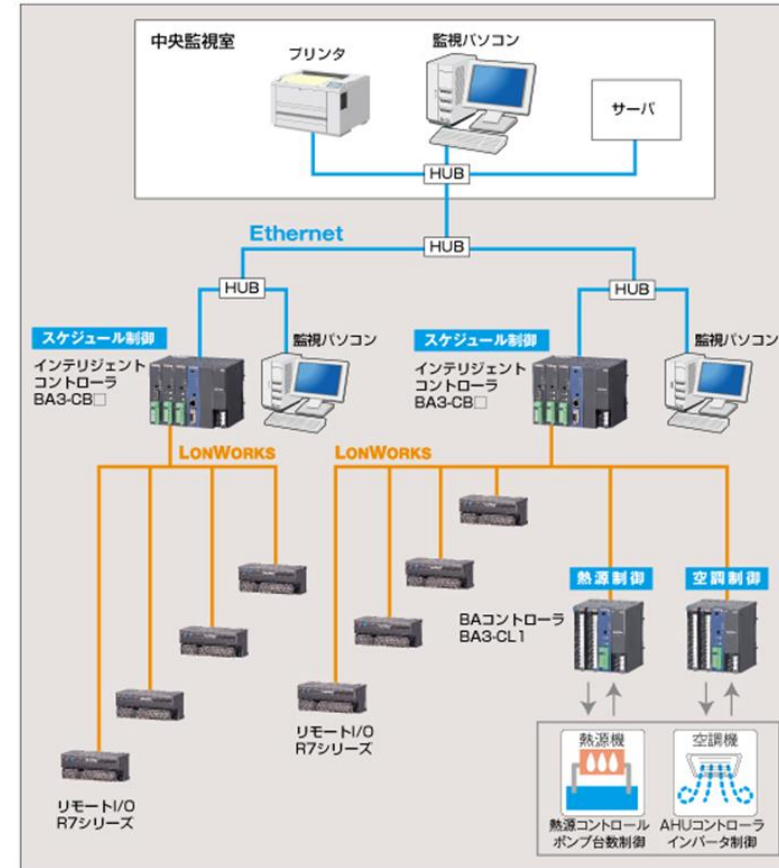
海外の例



特長

1. LON,BACnet,Modbusその他
2. 製品の種類範囲が多数
3. 自社製の統合監視ソフト

国産の例（エムシステム技研）



特長

1. LON,BACnet,Modbus製品各種
2. 純国産で高信頼
3. 廃型をしない長期供給保証